

施策マネジメントシート(令和元年度目標達成度評価) シート1 作成日 令和 2 年 10 月 1 日

施策体系

政策名(基本方針)	3	教育の健康	施策名	10	生涯学習の推進
-----------	---	-------	-----	----	---------

施策統括部	教育部	関係課
施策主管課	生涯学習課	

1 施策の目的と指標

対象	市民、市外からの通勤・通学者	意図	生涯にわたって目標・目的を持って学習を行っている。
----	----------------	----	---------------------------

成果指標

名称		単位
A	目標・目的を持って、実際に生涯学習を行っている人の割合〔市民アンケート〕	%
B		
C		
D		

2 指標等の推移

成果指標	26年度現状値	数値区分	28年度	29年度	30年度	1年度	評価	背景として考えられること	
A	%	30.2	成り行き値	30.2	30.2	30.2	30.2	×	前年よりアンケートの設問を「月1回以上、生涯学習を行っている人の割合」に修正しました。仕事や育児の時間が増加し、余暇時間が減少傾向にあると言われています。前年より数値の下降は見られるものの、ほぼ横ばいの状態と解されます。目標値には届きませんでした。
			目標値	35.0	37.3	39.7	42.0		
			実績値	27.2	20.7	36.7	32.8		
B			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
C			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						

※【評価】 ○：目標達成 △：目標をほぼ達成(-5%) ×：目標を未達成

事務事業数・コスト			28年度	29年度	30年度	1年度	
事務事業数		本数	33	22	16	14	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	12,049	814	0	0
		地方債	千円	0	21,700	32,100	0
		その他	千円	13,650	31,665	27,789	22,097
		繰入金	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	289,545	223,234	267,465	286,132
事業費計 (A)		千円	315,244	277,413	327,354	308,229	
(A)のうち指定経費		千円	50,486	16,381	20,642	21,026	
(A)のうち時間外、特殊勤務手当		千円	40	0	0	0	
人件費	延べ業務時間	時間	14,976	7,726	3,314	7,856	
	人件費計 (B)	千円	55,965	30,564	13,064	31,133	
トータルコスト(A)+(B)		千円	371,209	307,977	340,418	339,362	

施策マネジメントシート(令和元年度目標達成度評価) シート2 生涯学習の推進

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

【1】施策の方針

豊かな心をもつ人を育み、生涯にわたって生きがいを見つけられる生涯学習の推進を図るため、次の方針を設定します。

- ・市民が自ら生涯学習に取り組みやすい環境づくりとしての機会を提供します。
- ・豊かな心をもつ人を育み、生きがいを見つけられる生涯学習を推進します。
- ・学校・家庭・地域が連携した、子どもたちの良好な健全育成を図ります。

【2】協働によるまちづくりの具体策(市民と行政の役割分担)

ア)市民(事業所、地域、団体)の役割

- ・市民は、市主催事業や地域主催事業等の様々な事業に参加したり、指導者や講師として関わります。
- ・市民は、学習意欲を持ち、自分のライフスタイルに合わせ自主的に取り組みます
- ・地域は、文化活動等や各種講座、学習会を開催します。
- ・団体は、自主的に活動を行います。

イ)行政の役割(市がやるべきこと)

- ・市は、市民の変化する多様なニーズを捉えた各種講座・教室等の開催と支援を行います。
- ・市は、活動拠点となる各施設の計画的な整備と適正な管理運営を行います。

【3】成果指標の目標設定とその根拠(上段)・成果指標の測定企画(下段)

A	<p>目標・目的を持って実際に学習を行っている人の割合について、成り行き値は、平成26年度の現状値に基づき、今後、高齢化による余暇時間を利用した学習やスポーツ、ボランティア活動が増えると考えられますが、社会情勢の不安定化、家族介護等の増加によるマイナス要因もあることから、平成26年度の実績値で推移するとして令和元年度を30.2%に設定しました。目標値は、市民ニーズを反映した主催講座及び市民大学、女性セミナーの内容の充実、図書館活動の啓発に努めることで、機会の提供拡大を図って行きますが、マイナス要因として主催講座が施設の規模等に制約されることで、大幅な増加は見込めず、現状では、35%前後を推移していることから平成27年の目標値として設定していた42.0%を令和元年度に継続して設定しました。</p>
B	
C	
D	

【4】施策の現状と今後の状況変化

(第1期計画策定当初)

・今後、高齢化が進むことや、市民ニーズを検証し内容の充実や機会の提供を増やすことで、学習に親しんだりボランティア活動に参加できる人が増えると予想されます。反面、高齢化が進むことで、家族介護等も増えることから余暇時間の減少も考えられます。

・各施設の老朽化が進み、維持管理費の増加が考えられる。特に野々島公民館、黒石市民センターは、昭和48年に開館しており、耐震化もされていないことから計画的な建替えを行います。

・司書業務の委託により、社会情勢の変化に対応したレファレンス※業務等図書活動の充実が求められます。

※レファレンス・・・図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が情報そのものあるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによってこれを助ける業務

【5】この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか？

(令和元年度(平成30年度振り返り)の施策評価における議会意見)

- ①公民連携、外部委託を通じ、行政はマネジメントに専念すること
- ②講座等について、交通手段を含め参加しやすい工夫を行うこと
- ③超高齢社会を見据え、市民の要望を取り入れ、生きがいや楽しみを見つけられる生涯学習の推進に努めること

(令和元年度(平成30年度振り返り)の施策評価における総合政策審議会意見)

- ①みんなが参加したいと思う講座にするため既存の講座の在り方を見直すこと
- ②市民に親しまれる旧西合志庁舎の利活用を検討すること
- ③子どもの未来につながる生涯学習を推進すること

4 施策の評価

【1】 施策の振り返り(施策の方針、経営方針の達成度等)

※ 経営方針からの振り返り、貢献度評価の上位の事務事業を記載

(1)令和元年度の経営方針からの振り返りは、以下のとおりです。

【令和元年度振り返り】

①「生涯学習施設の適正な維持管理に努め、計画的な保全、効果的な施設マネジメントに取り組む。」については、急を要する修繕も多く発生しましたが適正な維持管理ができました。計画的な保全、効果的な施設マネジメントを図るため、管財課にて「公共施設個別計画」が策定されました。老朽施設につきましては、施設の劣化診断のもと計画的・効果的な保全計画の策定に努めます。

②「市民の学習要求を的確に把握し、住民のニーズに応える。」については、生涯学習主催講座において、民間委託を導入することにより、生涯学習に関する情報を幅広く収集し、住民のニーズに即した学習機会を提供することができました。

③「新たな地域コミュニティ(栄コミュニティ)活動の支援を行うとともに、情報の提供・共有に努める。」については、新たにみどり館を拠点とした栄コミュニティの結成が実現する目途がつかしました。みどり館を新たに市民センターとして活用し、住民の生涯学習活動の充実と情報提供に努めていきます。

(2)事務事業貢献度評価の結果では、令和元年度施策の成果を向上させるために貢献した事務事業として、「生涯学習講座運営事業」「図書館管理運営委託事業」があげられました。

【2】施策の課題(第1期計画策定当初)

- ・学習機会の提供では、施設使用の制約もあるが、講座・教室によっては募集人員に達していないものがあり、継続、休止、廃止の判断が難しい状況です。
- ・身障者パソコン教室など、受講者が少数の講座を開設が必要です。
- ・施設の老朽化により、雨漏れ等改修修繕に必要な経費の増加も予想されます。また、計画的に長寿命化や費用対効果を含めた改修、更新の検討が必要です。
- ・学校・家庭・地域が連携した子ども支援の取組みに向けた人材育成、機会の提供が必要です。

5 施策の令和元年度結果に対する審査結果

① 政策推進本部での指摘事項(施策目標達成度評価結果報告を受けて 令和2年7月21日)

- ・引き続き生涯学習に取り組みやすい環境(ハード・ソフト)づくりに努めること。
- ・市民ニーズに合った各種講座、催事などを工夫し、情報発信に努めること。
- ・新たな生涯学習指導者の育成・人材確保を図ること。
- ・新しい生活様式における生涯学習を推進すること。

② 総合政策審議会での指摘事項(令和2年8月6日会議及び書面によるまとめ)

- ・幅広い年齢層に対応した講座のメニューの充実を図ること。
- ・イベントや講座等の内容、場所等は参加しやすいように努めること。
- ・健康寿命の延伸を視野に入れた生涯学習を推進すること。
- ・社会教育施設が利用しやすくなるように環境整備を行うこと。

③ 議会の行政評価における指摘事項(令和2年9月9日)

- ・新しい生活様式(コロナ対応)における生涯学習のあり方について検討すること。
- ・3つの館の連携を図り、図書館の効果的な運営と利活用を充実させること。

6 次年度に向けた取り組み方針

● 政策推進本部 令和3年度合志市経営方針(令和2年10月1日)

- ①新しい生活様式への支援拡充と利用しやすい環境整備として、生涯学習施設のインターネット予約等を検討するとともに、各自治会公民館等の改修及び備品購入等の支援に努めます。
- ②幅広い年齢層を対象に健康づくりを基本テーマに教室・講座・文化活動メニュー等、内容の充実に努めるとともに、効果的な情報発信に取り組みます。
- ③図書館3館とマンガミュージアム及び歴史資料館が互いに連携し、効果的な利活用を図るとともに、それぞれの魅力発信に努めます。